

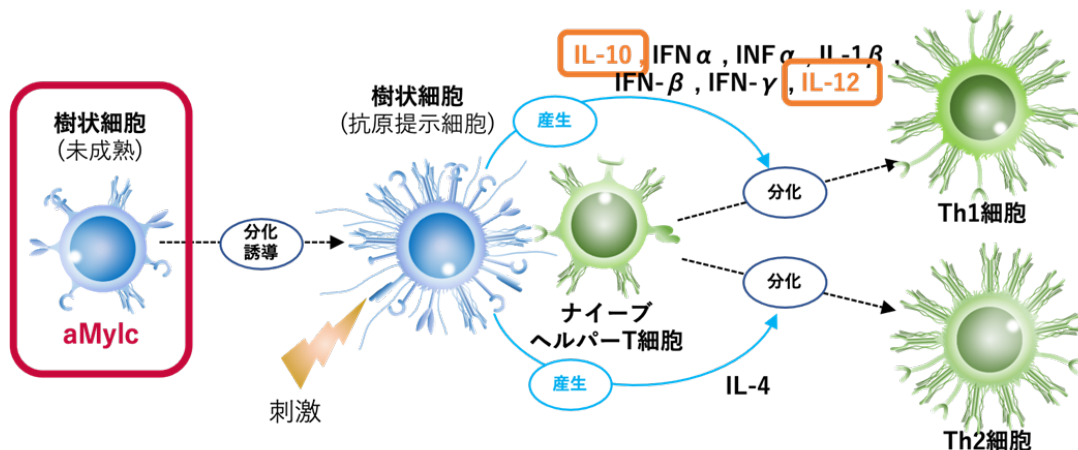
不死化ミエロイド系細胞(Mylc™)を用いた サイトカイン(IL-10/IL-12)評価キット

【Mylc™ELISA(human IL-10/IL-12 Kit)】 発売開始

マイキャン・テクノロジーズ株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役：宮崎和雄）は、ヒト末梢血単核球由来研究用ミエロイド系細胞である aMylc 細胞（※1）を利用した、機能性材料の安全性などのサイトカイン評価キット（研究用）【Mylc™ELISA(human IL-10/IL-12)Kit】を開発、9月9日（木）より発売を開始します。

当社では、感染症・免疫系疾患に重要な役割を担っているヒトミエロイド細胞（※2）を「多量に・安定的に・継続的に」提供する技術を開発し Mylc 細胞として開発・販売しています。Mylc 細胞は免疫応答が優れており、その特徴を活かして機能性材料等のサイトカイン評価キットの開発を行い、Mylc™ELISA(human IL-6) Kit として販売しております。

今回、多くのお客様から要望が高かった IL-10（※3）ならびに IL-12p70（※4）を検出する評価系を開発し、細胞と評価プレートを合わせたオールインワンの評価キットとして販売を開始します。Mylc 細胞の中でも特に機能性評価に優れた aMylc 細胞を用いて IL-10 や IL-12p70 のサイトカイン産生を検出することができます。



本キットは、従来の IL-6 評価キットと同様、オールインワン製品として設定しており、評価に必要な不死化ミエロイド系細胞(Mylc 細胞)、維持培養液、分化誘導培養液と IL-10 ELISA（※5）キットを、免疫研究用評価（※6）として提供するものです。このキットを使うことで、Mylc 細胞による高性能な評価試験を、「お客様ご自身で・簡単に・短時間で」実施いただくことが可能となります。

再生医療の技術を使用して作製した Mylc 細胞を多くの研究者の皆様にも手軽に使用して

いただき、当社の理念であります世界のあらゆる人の健康に貢献できるものと期待されます。

《本製品の特徴》

■従来法より安定で高精度な評価が可能

再生医療の技術を使用し、高感度のヒト末梢血単核球から作製した均一な Mylc™細胞を利用しさらに最適化された条件で測定するため、既存法であるヒト末梢血単核球(PBMC)やヒト細胞(Mono-Mac-6, THP-1 など)では、安定的に再現性よく高感度で検出が難しかった IL-10 ならびに IL-12p70 の検出を可能にしました。

■従来法より安定で高精度な評価が可能

標準キットとして、IL-10ELISA キットを添付した構成になっています。指定の IL-12p70ELISA プレートを買別途ご購入いただくことにより、IL-12p70 の評価測定も併せて評価が可能です。

■継代培養の必要はなく、簡単に短時間で評価が可能

お客様による細胞の継代培養や条件設定の必要性は全くありません。Mylc™細胞用専用培地とキット専用プロトコールにより、添付する細胞を解凍いただき即座に評価に使用いただけます。ご評価したい検体をご用意するだけで、キット入手から1週間以内に結果を得ることができます。



《本製品に関するお問い合わせ》

マイキャン・テクノロジーズ株式会社

〒615-8245 京都府京都市西京区御陵大原 1-36 京大桂ベンチャープラザ

担当：営業部 佐藤

【Tel】 075-381-3008

【E-mail】 info2@micantechnologies.com

【URL】 <https://www.micantechnologies.com/home-2>

■ 本製品開発に関する支援

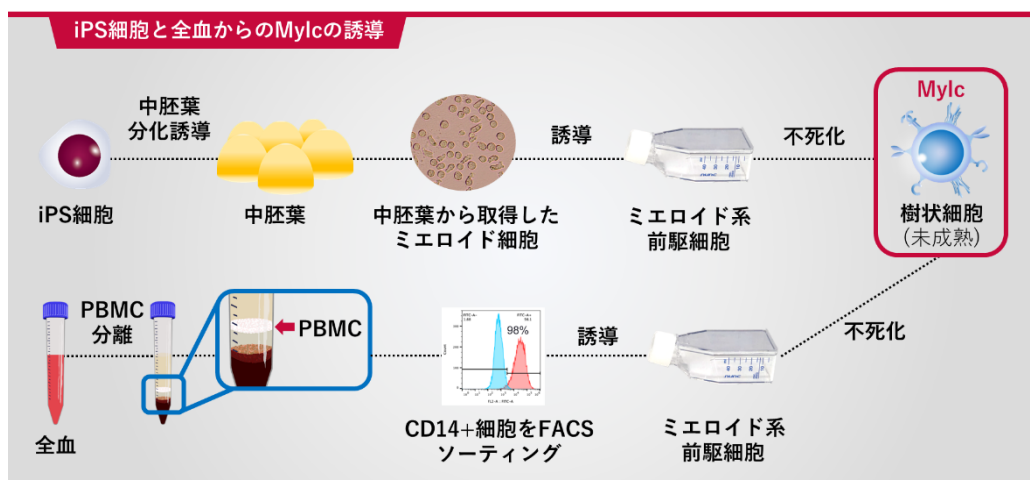
京都市「令和2年度京都発革新的医療技術研究開発助成事業」

■ 用語説明

※1 Mylc™細胞

弊社が令和元年12月に販売開始した研究用細胞です。iPS細胞やヒト末梢血単核球等から血球系細胞へ分化誘導し、ウイルス感染や免疫疾患など研究に適した未成熟な状態のミエロイド系細胞を培養する技術確立、状態が均一な細胞を、安定かつ多量に提供したのがMylc™細胞です。創薬・ワクチン研究開発や免疫系研究にとって重要な高い再現性の確保が可能です。（下図の赤枠がMylc™細胞）

※2 ミエロイド系細胞



赤血球などの血液細胞のうち、白血球の顆粒類（好中球、好酸球、好塩基球）や樹状細胞、マクロファージを指す。骨髄系細胞ともいう。

※3 IL-10

インターロイキン 10、ミエロイド細胞が刺激物に反応して分泌するサイトカインの一種。炎症反応を抑制する役割を持つ。

※4 IL-12

インターロイキン 12、ミエロイド細胞が刺激物に反応して分泌するサイトカインの一種。Th1(ヘルパーT細胞)を調整する役割を持つ。

※5 ELISA

Enzyme Linked Immuno Sorbent Assay の略。酵素結合免疫吸着法。特定のタンパク質を定量的に測定する方法の一種。特定タンパク質に対する抗体などと、定量的測定を可能にする酵素を利用する。

※6 免疫研究用評価

機能性物質（医薬品候補物質や化粧品、食品の機能性材料など）が、免疫細胞にどのように作用するかなどを評価。炎症や抗炎症に作用するサイトカイン産生を評価し、効能等を評価する。